

～省エネガラスコート施工店資格を希望されたお客様が施工研修会を受けた 1 例をご紹介します～

LLP プロローベグループ東関東地区総括
浜崎企画 & NPO 住み良いまちづくり研究所代表 浜崎慶子

唯今 LLP プロローベグループ東関東地区総括を務めています浜崎企画 & NPO 住み良いまちづくり研究所の代表浜崎慶子の出発点は、世界の若者たちを我孫子に招聘し、幼児から高齢者の方まで、幅広い年齢層が手賀沼に集いながら、楽しい時を過ごすことができれば、“世界は一つ”を経験できるのではないかと考えたことでした。但し、“世界は一つ”の基本となるのは、地球が美しい形で人類の生を受け入れてくれることで、「環境保全」が最も大事なことは言うまでもありません。その考えを共通基盤とするホストファミリー仲間の加藤キミ子様と、私たち自身が「環境保全」を実現していくために何をなすべきか話し合った結果、環境保全の大事さを世界に向かって熱心に説いている浅野喜久男代表の理念を理解していただき、LLP プロローベグループに参画していただきました。浅野喜久男代表は、これからの企業や、ボランティア団体は、CSR(社会的責任- Corporate Social Responsibility)を自覚しなければいけないと強調され、扱われるすべての製品は、その概念にのっとったものです。加藤様は(株)中村組という 50 年の歴史を持つ総合建設会社の常務取締役です。公共事業中心のお仕事をしていらっしゃる手堅い会社ですが、彼女は、これからの会社は、環境保全に配慮しなければ生き抜いていけないという強い信念の持ち主です。ご自身も中国のクブチ砂漠(内モンゴル)に十数年前から植林に行き、日本熊森協会の“人・動植物・地球すべてを救う！”運動に参加なさっています。省エネガラスコートの話を聞いてすぐに「うちのオフィスで、LLP プロローベグループ内での実験第 1 号になりましょう」と申し出て下さいました。CSR は勿論 SRI(社会的価値評価投資 - Social Responsibility Investment)に見合う製品だと確信なさったからです。

一省エネガラスコートを室内から窓ガラスに塗ると、透明なので塗りむらがおきません。その断熱/室内保温効果は抜群！サッと一刷毛で快適な室温が得られます一
その特性に着目して、施工店第一号に名乗りを上げた加藤キミ子様とその仕事仲間の方々の体験を交えながら、皆様に窓ガラスからの室温革命の話をして頂きたいと思えます。

(株)中村組のオフィスは、二階建てです。

1. 2階は特に西日が入り、暑くてたまらない。
2. 窓ガラスからの日差しが強くて暑いので、2階と1階の温度差が激しく、クーラーの効きが悪いので、冷房時には1階は強すぎてバランスが保てない。

という理由から、それを克服するために平成20年の10月11日の土曜日に、施工研修(実習)を受けました。

その日の様子をご報告します。

- ① 午前中は、施工研修者9名(うち塗装業者1名、左官屋1名)見学者5名で、省エネガラスコートの歴史や特色などを勉強。午後実際の施工を体験しました。この時、今後省エネガラスコートの塗装業を営みたいという意識から、小さなお子様を連れてお母様方が参加して下さいましたので、現場はとても賑やかで、和気あいあいとした雰囲気でした。

開発メーカーの指導員2人による研修時間数は全体説明に1時間半、手取り足取りの指導を受けながら研修者9人で約15.7㎡の塗装実習に2時間半、合計4時間だけで完全な研修が終了しました。当日に(株)中村組という新たな施工店が誕生しました。

- ② 先ず、施工現場の写真をビデオやカメラで撮りました。何かトラブルが起こった時の検証資料となるからです。
- ③ 其のあと、“養生”では、マスキングテープを窓枠のガラス5mmくらいにかけ、マスキングします。ビニールマスキングと共にはきちんとしわなく張るのが意外と難しく、手早さも一つのポイントになるようです。
- ④ ガラスの油膜取りは普通大変らしいですが、(株)中村組は、普段から窓ガラスの手入れが行き届いているので、比較的スムーズに終わりました。一般的には、この作業が、仕上がり全体の80%を制するというので、隅々まで油膜(はじいているところ)を除去するのが、大切だということです。
- ⑤ “再養生”行程では、1度目で要領がわかっているので、貼り直しがスムーズでした。
- ⑥ プライマーでは、便コットンに少量のプライマーを付け、ガラス面に均一にムラなく塗り延します。塗装業の方や、左官屋は、さすがに、ムラがありませんでした。女性陣も丁寧に塗るのが得意な人が多いので、思ったよりムラがでませんでした。
- ⑦ コート剤配合による塗りは、3回に分かれてローラーで塗りますが、1回目は、下付け、2回目はヨコ塗り、3回目は仕上げで下からコートします。下塗りの時は力強く、仕上げの時は、スポンジをなでるように軽く転がすなどのコツは、今後何回も経験を重ねていくうちに自然にできるようになると思います。

- ※ 実体験の感想が多かったのが、思ったよりも塗りが簡単だったことです。ペンキの塗装や、モルタルの左官などは、かなりの年季がいるでしょうが、透明な省エネガラスコートは、きちんとした講習を受けコツが呑み込めれば、男性でも女性でも、すぐマスターできるということでした。
- ※ コートを塗ることでの揮発性の匂いは、相当あります。この日は窓を開けず、西日の中で 9 名が一斉に作業したので、匂いが部屋の中にもまりました。終了後匂いは抜けるので問題はありますが、発生することをお客様に対してはきちんと、了解を取っておいた方が良いでしょう。

後日天気の良い日に浜崎が、このオフィスに伺って、直射の太陽熱と、液体を塗った窓ガラスを通しての暑さを手に当てて比較すると、後者の暑さの方が柔らかいことが実感できました。例えば従来のガラスを使用し冷房を 6℃に設定する場合、断熱ガラスコートを使用する部屋では、冷房を 8℃にすることで同じ程度の冷房効果があるので、2℃分の電気代が安くなるのです。

特に、事務所の女性の皆さんが、**有害紫外線を 95%カットするので皮膚癌やシミ、そばかすなどから人体を守る**という点を期待していました。

今後皆様に様々な情報を提供していきたいと思いますが、省エネガラスコートにご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非下記のアドレスにご連絡を頂ければ幸いです。

LLP プローベグループ東関東地区総括

浜崎企画&NPO 住み良いまちづくり研究所代表 浜崎慶子

千葉県我孫子市並木 7-3-2

TEL&FAX:04-7182-8189

E-mail :m-hamasa@agate.plala.or.jp

(株)中村組

担当 常務取締役 加藤キミ子

本社:千葉県流山市三輪野山 4-18-60

TEL:04-7158-5525(代)

FAX:04-7159-7432 E-mail : info@nakamuragumi-web.co.jp

以上